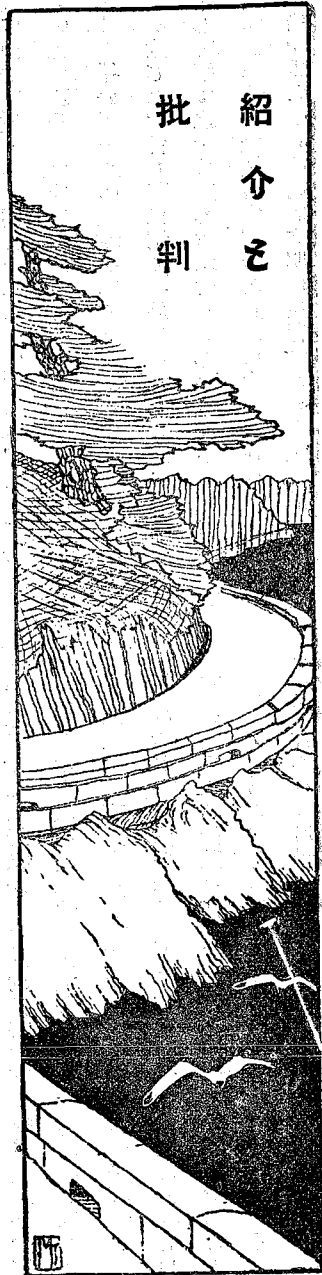


紹介と
批判



長岡長官著社會問題と地方行政

路 政 僧

社會局長官長岡隆一郎氏が久し振りに「社會問題と地方行政」を著述された、此七年間に各地に於て爲された講演の要旨を集めて改訂を行ひ印刷されたのである、社會問題の八ヶ間敷ときに社會局長官の劇職に在つて日夜繁忙の氏が著述されたことは、吾々無爲の徒に對して精勵努力すべきことを暗示されたやうな氣持がする。

收められた事項は、最近問題となれる社會立法に就てと言ふ論文以下十篇と、自動車と道路、商港繁榮の要件、道路工事の執行に就て及都市計畫の通俗的概念並に地方事務一般と言つたやうな問題が取扱はれてゐる、社會問題に就ては門外漢たる吾々の言ふべき所ではないが、著者自ら言つて居られるやうに社會政策を實行する役人として其の專

間の事項を講述されたのであるから近時の社會政策の研究には恰好の參考書である、私が茲に紹介せむとするのは路政に關する二事項である。

自動車と道路に就ては、産業振興の聲が朝夕の間に充ちてゐても、其の活動に要する根本的基底をなす道路の施設が振はないのを難じ、産業政策の爲には高速度車輛——自動車の交通に適應する道路網を設定して、道路の効果を擧ぐることに力めなければならぬことを力説し、自動車と道路とは恰も列車とレールの如き密接な關係を有し、之を分離して考へるのは文明に逆行せむとするものであつて、天に向つて唾すると同様であると斷じられてゐる、吾人は其の説に双手を擧げて賛成するのであつて、交通物體を考慮外に措いて道路の施設を爲すべきでないことは既に數回之を論じた、併し現代制度に於ては此明らかな關係をも無視して強て之を分離し行政せむとしつゝ、在る、這般公布された遞信省や鐵道省官制の改正前に本書が刊行され關係の反省を得たならば或は文明に逆行するやうな改正が行はれ

なかつたのではないかと今更ながら遺憾の念を禁じ得ないのである。

自動車營業の經營に就ても道路政策上の見地から考察するの必要を訴へ、其の經營は公營よりも私營の方が優秀なことを説き、便利な地を選んで防火式耐久性の車庫を建造するの必要を述べ、道路損傷の修理は翌朝までに完成して道路の一般交通の障害を尠ならしむべしと教へ、一朝有事に際し瓦斯倫の輸入杜絶しても之が補給に相當の確信ある事の必要を説きて自動車政策の概要を述べ、是等事業の隆盛を期するが爲には地方道路を改良するの急務なるを説き、之が爲には最初から合法的計畫の下に幅員標準令、屈曲截斷令、沿道建築令、改築後退令及建築移動補償令等の法令を制定して高速度交通機關の發達を期するの必要があることを論じ、米國の例に徴して鐵道の發達を圖るよりも自動車の利用する道路を改良することが刻下の急務であると結論されてゐる、その所論は私共の主張と全然一致してゐて何等言ふべき所がない、長官が抱藏されてゐる路政觀に

基いて、政府の社會政策の一として執行されてゐる失業者救濟事業を此方面に向けて貰へば一層善良な道路を維持することが出来るであらう。

道路工事の執行に就ては會て本會の執行した道路職員講習會に於て講演された事柄であつて、長官が會て内務省監察官時代に例の爛眼で地方道路行政を監察された其の經驗に基いて所論された所である、工事の請負に關して行はれる不都合な點を指摘し、工事の執行に關しては工事材料の

路 政 漫 談

檢收並に其の受拂に關すること工費の内渡及工事竣功期限と違約金の問題、補助工事に關する會計監督、工事の設計に關しては設計の標準單價及歩掛りのことを始め設計變更に關することに及び、更に材料購入に關することに就き微に入り細に亙つて論述され、其所論は人の肺腑を衝く感がある、従つて本文は道路工事の執行に方る者の是非必讀すべき名文であると同時に、行政廳を監督する任にある者も亦必讀すべき論文である。

谷 口 松 雄

「鶏肋」と言ふ字句がある、何でも鶏の脾腹の肉のことで、喰べるにはでがないが、ざりとて捨てるには惜しいと言ふ所で、大體に於て、大して役立つと言ふ程でもないが、無

いよりましで、何かの役に立つ物と言ふ意義だつたやうに記憶する。

若輩の私が「道路の改良」誌上に、鳥辭がましく何か書